

が総予算5億7420万円をもって予定されている。大淵と下五十嵐をのぞいて他は終了した。43年度は基礎物理探鉱3カ所および基礎試錐4坑が予算約6億7千万円で実施される予定である。

おわりに

世界のほとんどの国は、石油開発については50~100%政府出資の国策機関を設けて国家の強力な支援体制の下に行っている。ことにフランス、イタリアはERAP、ENIと呼ばれる公社を設けて強力な探鉱・開発体制を行なっている。ERAPでは1966年に国外の石油探鉱に198億円を使っており、ENIも1965年からの5カ年計画に探鉱・生産に1566億円を投入することを決めている。石油自給度が日本のように低く、供給体制がほぼ同条件にある。これらの国々の資金投入状況を見ると、わが国としても、国際競争上、現状ではまだ不十分で、今後さらに国外の探鉱規模を大きくしていかななくてはならない。石油探鉱事業の前途は多事であるが、地質家の面目にかけても光明を前途に見出さねばならぬときである。

石油開発公社の発足を契機に、石油鉱業に対する一層のご理解をお願いして止まない。

小文を草するに当っては、通産省鉱山局の資料からいろいろ引用させて頂いた。アラスカ石油、サバ帝石、ジャベックス、オーストラリアからは貴重な写真を貸与して頂いた。石油開発公社山内監理事にはご多忙にもかかわらず本文を校閲していただいた。これらの方々へ厚くお礼を申上げる。

石油開発公社の住所は

東京都港区赤坂1丁目9番13号(三会堂ビル)

電話 東京(582)9221(代表)

なお、事業本部は旧石油資源開発のままで、大手町ビル5階である。

「追記」本文を草したのは公社発足間もない42年10月であったが、その後情勢は刻々変わってしまった。43年1月にはペルシア湾沖の探鉱を対象に、日本鉱業、大協石油、丸善石油の3社により、アブ・ダビ石油が設立され、年内に地震探鉱が行なわれる予定である。本文中の記事もできるだけ up to date のものにしたつもりである。

(筆者は燃料部 石油開発公社出向中)

地学と切手



祖母山 国定公園

堀内 恵彦

昭和40年3月25日に国定公園の指定を受けた統計220km²のこの地域は、大分・宮崎の両県にまたがり、熊本県境に接する祖母山(1,758m)を主峯に、その東に連なる本谷山、傾山が形成する山稜からさらに南東にのびる夏木山、大崩山、桑原山の一带を主体部分とし、さらに帯状に延びる祝子川の沿岸から行懸山付近、および岩戸川沿岸から五箇瀬川にかけての高千穂峡地域に加えて、飛地として、北に三國峠地区、南に比叡山・矢筈山の地区があります。

この地域はまた日本建国の神話にちなむ史跡が多く、人文学的景観もすばらしい特色をもっています。以下にその大要を述べましょう。

祖母山…祖母山を主峯とする山稜を総称して呼んでおり、その東に傾山(1,604m)、さらに東南に大崩山(1,643m)があります。山頂からの展望は、豊・肥・日の3国を一望できる壮大なもので、東傾山腹にはツガを主とし、モミ、ヒメコマツ、アカマツを混生する森林植生上貴重な原生林があり、特別

保護地区とされています。登山は南の高千穂峡からも可能ですが、北の豊後竹田からが楽です。

高千穂峡…高千穂町三田井を中心にして、五箇瀬川上流の阿蘇溶岩の侵食谷で、窓の瀬付近4kmの間をいい、忍穂井(おしほい)、真名井滝などの優れた景観があり、神橋谷付近には日形・月形の奇岩があります。また、高天原、天照大神で有名な天岩戸、国見丘(五箇瀬の流れと阿蘇・祖母山の遠望に最適)など神話にちなむ史跡があります。また、付近には無形文化財の岩戸の神楽があり、コトバには古語がそのまま残り、屋根に千木を置く個々の風景がみられます。

行懸山…山容が、武士が乗馬に用いた毛皮製腰当の行懸に似たのでつけられたといわれ、雄岳(東岳)と雌岳(西岳)にわかれ、その間に、落差100mの九州有数の名瀑、布引の滝があり、西岳の頂上は、ひこほまでみの命の御陵といわれ、四方の眺めは雄大です。

比叡山と矢筈山…網の瀬峡谷を間に相対しており、石英斑岩の岩肌には赤松のはえる風景地で、日向金剛とも呼ばれ、行懸山とともにハイキングコースとして利用されています。

切手は昨年12月20日発行され、祖母山の遠望と高千穂峡の景観を画くグラビア4色刷の2種類の15円切手です。

(筆者は元所員 現科学技術情報センター)